

『二年詣り』から (和納八幡神社)



わほく
わたしの自信作

■中央保育園
五歳児

■後列左から：こばやしまさやくん、やまかみきょうへいくん、たなかあずさちゃん、まつながたくやくん ■前列左から：ありさかしんくん、ほしのめいちゃん、おおもりももこちゃん、やまかみゆうすけくん



▼2月15日からみんなで利用する食堂棟



待望の食堂棟が完成（和納） ～これからは、みんなで楽しくランチタイム～

和納小学校の食堂棟が、このほど完成しました。同校では、今まで各クラスがそれぞれの教室で給食を食べていましたが、全校児童と一緒に給食を、ということで、昨年7月より工事が進められてきました。

食堂棟は、鉄骨平屋建で食堂スペース450m²、配膳スペース50m²の広さがあり、内外とも明るい色調をつかっています。また、屋根には、校舎・体育館と同じようにトップライトを設け、全体にマッチするようなつくりになっています。

中でも最大の特徴として、給食だけではなく、食事マナーの指導、児童の健康管理の指導、あるいは特別活動にも利用できるようにと放送機器やAV機器、冷暖房設備も整備されています。

この食堂を使用しての給食は、2月15日からを予定していますが、これからは今まで以上に快適で楽しいランチタイムとなることでしょう。

転作完全実施に強い決意 ～新年祝賀会で、村長あいさつ～

先月4日、新春恒例の『新年祝賀会』が、村議会議員や各区長、各種団体代表ら89名が出席する中、老人憩いの家「静閑荘」で盛大に開催されました。

冒頭あいさつに立った鷲沢村長は、「景気回復が見えてこない中で財政運営はひじょうに厳しくなっている。しかし、停滞がゆるされない地方自治体の役割はしっかりと果していくなければならない」と、平成11年に予定されている事業などについて協力を呼びかけました。また、初めて未達成となった昨年の転作問題に触れ、「未達成市町村はたいへん不名誉なこと。今年からは公共事業等にも支障をきたすしそがあるため、関係団体と連携しながら、完全実施に向け取り組んでいきたい」と、強い口調で訴えました。その後、早川村議会議長、大関農業委員会長、相沢農協地区理事、佐藤商工会長が、それぞれ厳しい時代の中、明日の岩室村のために祝辞を述べられました。

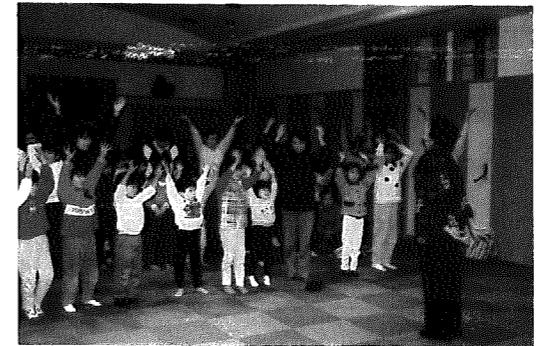
▼年頭のあいさつを述べる鷲沢村長



TEL 02-4431(内線207) へお電話ください。



こんなこと



▲みんなで楽しく手遊び

初のこころみ、「冬休み子どもお楽しみ会」

～歌ったり、おはなしを聞いたり、大満足のひととき～

北風の吹く寒い一日となった昨年12月26日、村立図書館で『冬休み子どもお楽しみ会』が開催され、親子連れなど約60人が参加しました。このお楽しみ会は、図書館をコミュニケーションの場として、ひろく皆さんに使用してもらおうと、今回初めて開かれたものです。当日は、県立新潟女子短期大学から講師を招いて、歌や踊り、パネルシアターなどを楽しんだり、図書館職員によるおはなしを聞いたりと内容も盛りだくさん。予定された1時間は、あっという間に過ぎてしまいました。



▲寒空をものとせず

波しぶきを裂き、気合の1000本突き！

～岩室空手道会、伝統の寒げいこ開催～

時折寒風が吹き荒れ、身を刺すような波しぶきの中、先月2日、間瀬海岸（シーサイドライン越後七浦観音付近）で、岩室空手道会（大塚日出男師範）伝統の『寒げいこ』が行われ、小学生や保育園児、主婦ら26名が参加しました。

今年で25年目となるけいこは、薄い空手着一枚で海に入り、太鼓の音に合わせ、気合を込めて1,000本の正拳突き、を行うという厳しいもの。途中でくじけそうになる子どももいたようですが、全員無事最後までやり遂げました。



▲通常点検

決意新たに、住民の安全確保を！

～恒例の出初式で消防団員ら誓う～

寒波襲来となった先月10日、新年恒例の消防『出初式』が、村長や村議会議長、消防署職員や消防団員ら関係者約200名が参加する中、村民体育館で盛大に行われました。

式典では、まず団員への辞令交付と、消防活動に尽力された方々への功績・功労及び永年勤続表彰が行われました。その後、「民生の安全確保と住みよい村づくりのために、住民の期待に応えてほしい」と鷲沢村長が訓示。最後に、通常点検や分列行進が行われ、参加した団員たちは防災への決意を新たにしていました。



▲入所者が見守る中で、頑張る園児

園児との交流、今年も「もちつき」から

～いわむろの里で、園児もちつきに初挑戦～

先月13日、老人保健施設「いわむろの里」で中央保育園の年長児を招いて「もちつき大会」が行われました。

当日は、入所者の見守る中拍手で迎えられた園児たちは、2人1組となり、ボランティアの方と「よいしょ、よいしょ！」の掛け声に合わせもちつきに挑戦。ほとんどの園児が、はじめてのもちつきということで四苦八苦していたようですが、つきあがったおもちゃ、おじいちゃん・おばあちゃんたちと一緒においしそうにほおばっていました。